

令和2年9月1日

武蔵野市山岳連盟会員の皆様

武蔵野市山岳連盟

理事長 小尾 隆

## 令和2年度 武蔵野市山岳連盟の各種事業等について

連盟会員の皆様には山岳連盟の事務・事業にお力添えいただき誠にありがとうございます。  
ます。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い残念ながら主要事業全てが中止になる事態となってしまいました。

① 初心者登山教室は4月開講を7月まで延期して準備を進めておりましたが新型コロナウイルス感染症の勢いが止まらないため、野外活動センターと協議した結果、今年度は中止にしました。そのため、今年度ご応募頂いた方々の希望者で会を作り連盟リーダーの有志で机上講習等をサポートしております。

② 指導者講習会も中止にしました。開催すると受講者及び講師、指導部会員等を数えると例年30～40名程度は集合します。この時期にクラスターを発生させる行為（事業）は慎むことと、体育館をはじめ公共施設では定員数（通常の三分之一）を定めており30名以上は定員オーバーで使用できないためです。

③ 春の市民体育大会、秋の市民体育祭の2事業は、移動するための手段である観光バスの中が三密となり、クラスターを発生させる行為になることが理由となりました。

どの事業も連盟にとっては大切な事業で有りましたが、連盟会員の皆様、事業に参加される皆様の安全・安心が第一と考えております。

そこで、事業の無い下半期を利用して連盟登山指導者資格の会員を中心に多くの会員が参加できる「リーダー研修会」（仮称）を計画しております。準備が整いましたら加盟団体宛にご通知いたします。

そして、9月に入り登山が楽しい季節となりました。

先の見えないコロナ禍の中、体力保持、トレーニング等いろいろな目的を持って登山計画を考えている山の会もあると思います。登山を実行する場合には、登山のガイドライン等を守りながら安全・安心な山行を心掛けてください。そこで、連盟の講習会等でお世話になっている野口先生が監修した「登山とコロナ対策」を掲載いたします。

## 【登山とコロナ対策】 日本山岳会/西山さより氏 監修/野口いづみ氏（医師）

— 感染させない・感染しないために —

- ◆登山前
  - ①3日前～当日までの体調と体温を記録したものを山行リーダーに提出
  - ②少しでも風邪症状があったり、体調が悪い場合は参加しない
  - ③自分の指で目、鼻、口に触らないように習慣づける
- ◆携行品
  - ①消毒グッズ（除菌シート・ジェル）
  - ②マスクやプラスチックの手袋
  - ③密閉できるゴミ袋
- ◆登山中
  - ①1パーティは10人以下とし、人数は適宜判断する
  - ②ソーシャルディスタンスとして前後2m以上間隔をとり、できるだけ真後ろを避け、並んだり、斜め後ろの位置を歩く。すれちがう時は1.5m以上間隔をあける
  - ③休憩時も密集を避け、間隔をとる
  - ④手指の消毒励行→鼻かみ・咳くしゃみ後、トイレ使用前後、食べる前、鎖場や梯子を通過後、共同装備（ザイル、カラビナなど）を使用した後
  - ⑤大声で話さない
  - ⑥食料・ドリンクの共有をしない
- ◆移動中
  - ①公共交通機関内ではマスクを着用する。手の消毒をしっかりとる
  - ②車内・トイレなどでザックや荷物を床に置かない
  - ③手すりやつり革に触れない
  - ④車、タクシーでは窓を開け換気をする
  - ⑤地元住民との接触を避ける
- ◆宿泊
  - ①小屋・テント内ではマスクを着用する。手の消毒をしっかりとる  
他の方の荷物に触れないように注意する
  - ②小屋泊では必ず予約を取り、小屋の指示に従う。食事は対面を避けて取る。寝具はシュラフかインナーシュラフなどを持参するのが好ましい
  - ③テント泊の場合はできれば一人一張りの方が好ましいが、不可能な場合は利用者は定員の半数以下を心がけ、換気をしっかりと行う。夏はタープの使用も考える